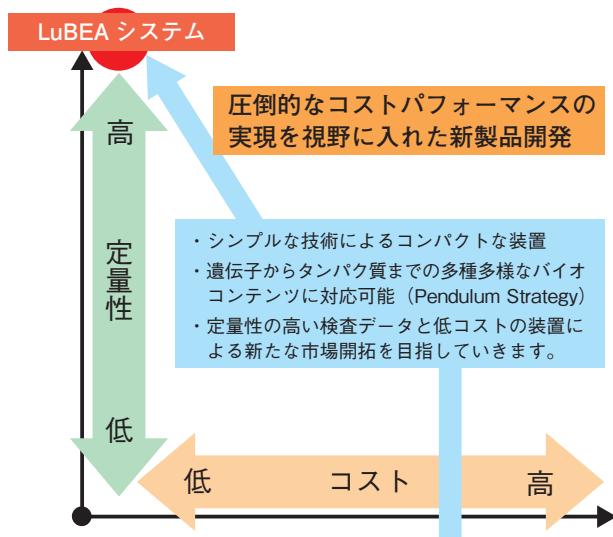


# 事業指針 1 業界のブレイクスルー：新製品開発による成長モデルの確立



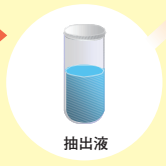
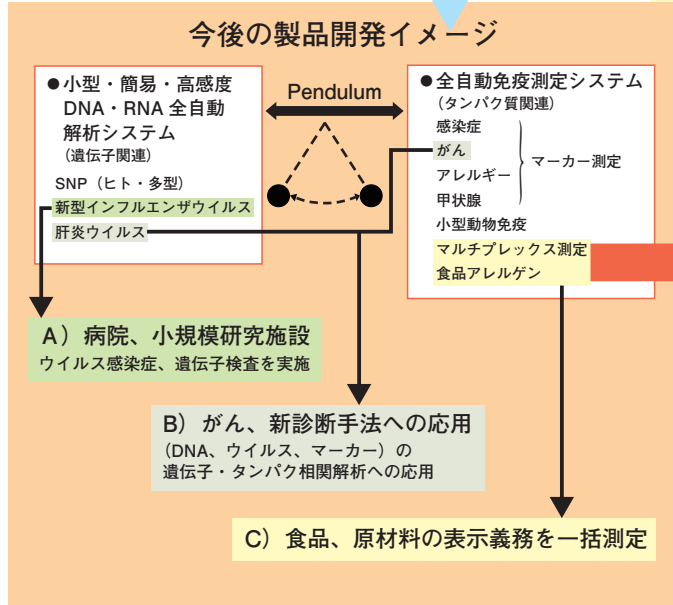
圧倒的なコストパフォーマンスの実現を視野に入れた新製品開発

- ・ シンプルな技術によるコンパクトな装置
- ・ 遺伝子からタンパク質までの多種多様なバイオコンテンツに対応可能 (Pendulum Strategy)
- ・ 定量性の高い検査データと低コストの装置による新たな市場開拓を目指していきます。

## ・ 特定食物アレルギー定量システム実用化支援 (H21.5.29 プレスリリース)

・ 特定食物アレルギーの迅速・簡易な定量法の開発が NEDO 「SBIR 技術革新事業」に継続採択 (年間予算約 5 千万円) されました。前回の研究開発段階から、今回は実用機を完成させて、食品事業者が比較的容易に導入できる、安価、迅速及び簡易な特定食物アレルギー定量システムの早期実用化を目指します。

### 特定食物アレルギーの迅速・簡易定量システム完成イメージ

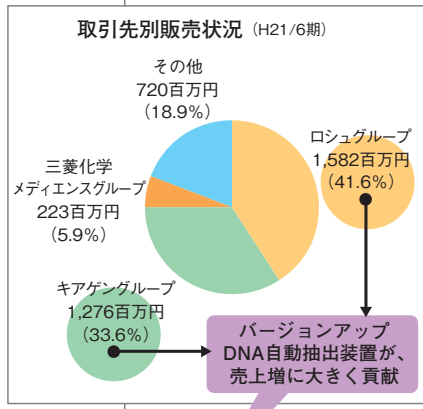
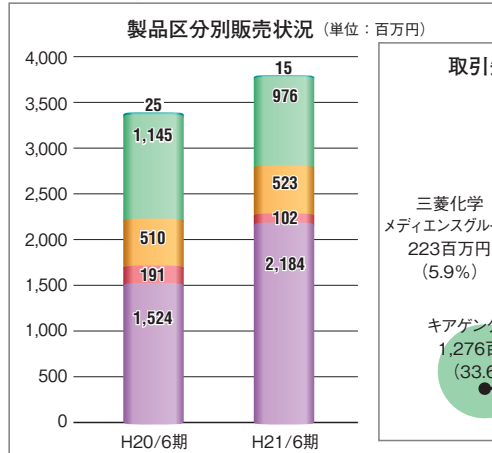
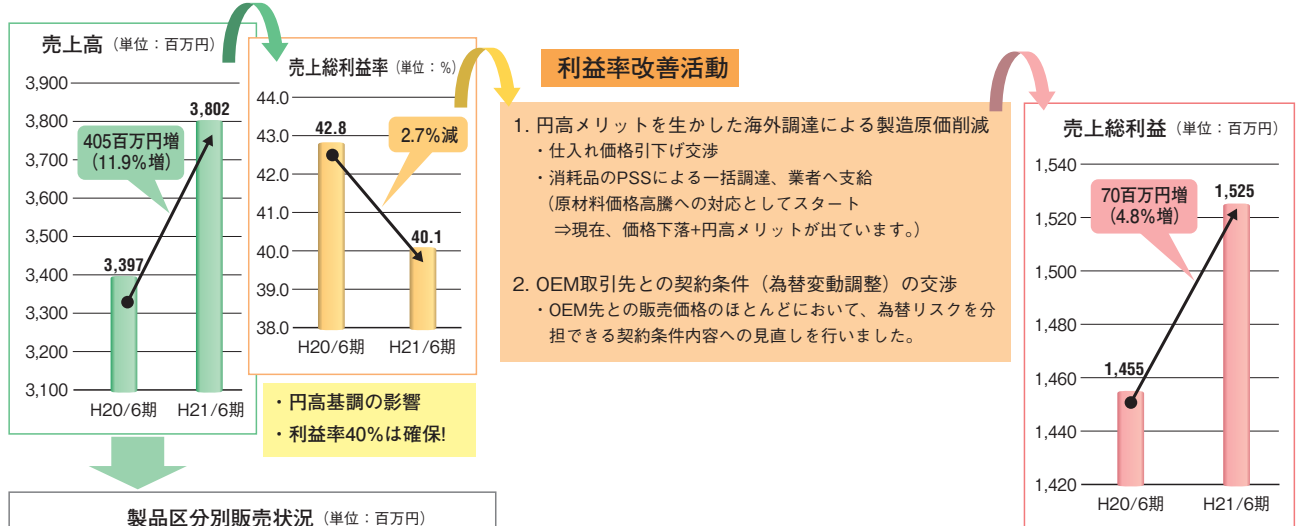


小	そ	落	乳	た	か	え
麦	ば	花生	に	ま	ご	び
-	-	+	-	+	-	+
測定結果						

早期に臨床研究市場へ上市後に許認可を得て臨床検査市場へ

# 事業指針2 既存事業の収益力強化：売上総利益の改善

## 第24期実績（第23期比較）



第25期においても引き続き、品質改善と原価コストダウンを視野に入れた活動を行います。

	H20/6期		H21/6期		対前期比	
	百万円	%	百万円	%	%	%
DNA自動抽出装置等	1,524	44.9	2,184	57.4	43.3	
その他理化学機器	191	5.7	102	2.7	△46.6	
その他製品	510	15.0	523	13.8	2.6	
商品（プラスチック消耗品）	1,145	33.7	976	25.7	△14.8	
その他営業収入	25	0.7	15	0.4	△39.6	
合計	3,397	100	3,802	100	11.9	

自動タンパク質合成装置に関する製造委託契約を締結（H21.4.13 プレスリリース）  
独自のタンパク質合成技術を持つセルフリースサイエンス社との製造委託契約締結により、今期の量産販売による売上貢献を視野に入れています。

# 事業指針3 販売費及び一般管理費削減：最終損益黒字化

第24期（第23期比較）  
営業利益改善額 399百万円

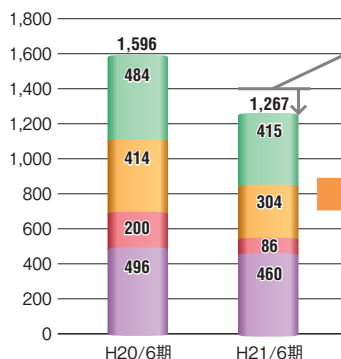
事業指針2：売上総利益の改善額

70百万円

+

328百万円

販売管理費内訳（単位：百万円）



対予算比133百万円減

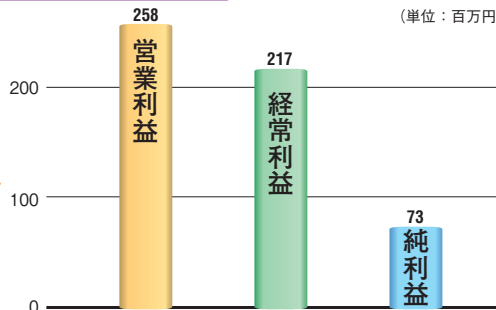
### 対前期比削減額

合計 328百万円内訳（単位：百万円）

その他	69
研究開発費	110
減価償却費	114
人件費	36

### 第24期連結損益（第23期比較）

（単位：百万円）



（前期比399百万円増）

営業外費用（為替差損）として44百万円計上（前期比465百万円増）

特別損失として投資事業組合管理報酬返還金33百万円、法人税等調整額67百万円（欧州子会社より配当金受取方針）計上（前期比474百万円増）

## 第25期においてこれら3つの事業指針を徹底して行える体制の構築

更なる組織運営の効率化の為には、  
創造性の高い研究開発活動に特化した組織の必要性

### 研究開発活動を子会社UBR社へ集約

（H21.6.29 プレスリリース）

- ・オリジナルハードウェア技術を切り口としたシステムインテグレーションに特化
- ・今後はできる限り各分野の専門化集団と組む事により更なる研究開発活動の効率化を図り、迅速な新製品の上市を目指します。